

教育関連法規 等
 日本国憲法 教育基本法
 学校教育法 学習指導要領
 県教育指針二戸市教育目標

現代社会の要請
 ・心豊かな人間の育成
 ・自己教育力の育成
 ・基礎・基本の重視
 ・個性教育の推進
 ・文化・伝統の尊重
 ・国際理解教育の推進

特別活動
 望ましい集団活動を通して個性の伸長を図る。
 また、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築いていこうとする自主的・実践的な態度を育てる。

環境教育
 自然や植物を愛護し、環境保全や環境問題の解決に主体的にかかわろうとする心情と態度を育てる。

情報教育
 情報活用能力を発揮し、自ら考え正しく判断し、適切な行為を選択して行う態度を育てる。

ボランティア教育
 福祉活動や環境保護などのボランティア活動を通して、他者や社会のために貢献しようとする態度を育て、自らの生き方を主体的に考えさせる。

国際理解教育
 自国と他国の文化や伝統・習慣などについて正しくとらえ、互いに尊重し合い協力・協調する態度を育てる。

キャリア教育
 児童一人一人が、周囲の人々とのかかわりの中で自分の役割に気付くとともに、働くことの大切さを考えるための基礎を養う。

食育
 児童の食に対する関心を高めるとともに、よりよい食生活を心がけようとする態度を養う。

学校の教育目標
 自ら学び、粘り強くやり抜く子どもの育成
 健康でたくましい子
 学習にうちこむ子
 働くことを喜ぶ子
 励まし助け合う子

道徳教育目標
 学校の教育活動全体を通して生きる上で基盤となる道徳的価値の形成を図り、自己の生き方についての考えを深める児童を育成する。
 1 自他の生命を尊重し、自然を大切にしようとする子ども
 2 明るく節度ある生活をし、自律的な人間を目指す子ども
 2 目標をもち、粘り強く最後までやり通す子ども
 3 勤労を喜び、奉仕の心をもち進んで人々や地域のために尽くそうとする子ども
 4 相手の立場や気持ちを考え、誰に対しても思いやりの心をもって親切にする子ども

各学年の道徳教育重点目標	
低学年	1 生きることを喜び、命を大切にすることを。
	2 あいさつなどの基本的な生活習慣を身に付ける。
	3 自分でできることは自分でやる。
	4 約束やきまりを守り、自分にできる仕事は進んで行う。
	5 友達と仲良くし、幼い子や高齢者に温かい心で接する。
中学年	1 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切にする。
	2 よく考えて行動し、節度ある生活をする。
	3 自分で決めたことは最後までやり通す。
	4 公德心をもち、進んで働く。
	5 身近な人々と協力し助けあう態度を身に付ける。
高学年	1 自他の生命を尊重し、自然の偉大さを知る。
	2 自分の生活を見直し、自律的で責任のある行動をする。
	3 目標をもち、くじけないで努力する。
	4 集団における役割と責任を果たす。
	5 相手の立場を理解し、支え合う態度を身に付ける。

補充・深化・統合

特別の教科 道徳
 (1) 道徳の時間を要にし、教育活動に関連づけた道徳学習を意図的・計画的に行い、豊かな心を育成する。
 (2) 道徳の時間が、児童の心に響くように指導内容、指導方法を工夫する。
 (3) 全職員の協力のもと、指導体制を充実させる。

生徒指導・学級経営
 (1) 基本的な生活習慣の確立を図り、正しい判断の基に行動できる能力や態度を育てる。
 (2) 日常の児童理解に努め、児童と教師の相互理解と信頼関係を深める。

道徳教育推進委員会・・・(指導計画・指導内容・指導方法の検討)
 委員長 (校長)
 委員 (道徳教育推進教師、副校長、主幹教諭、教務主任、研究主任 学年代表)

児童の実態
 ・明るく素直な児童が多い。
 ・言われたことや与えられた課題にねばり強く取り組む児童が多い。
 ・深く考え、自分から進んでかかわろうとする姿勢が不足している。

学校・地域の実態
 ・地域は学校に対して協力的である。
 ・学区が広く、自然と文化遺産に恵まれている。

家庭・地域との連携
 通信等を通して、地域・家庭への啓発と連携を図るとともに公開授業や参観日において共通理解を図る。

各教科における道徳教育
 各教科の目標達成の中で、自ら学ぶ姿勢、協力したり、学び合ったりする姿勢を培う。
 以下の内容を特に重視する。
 国語科 表現力 豊かな心情 伝え合う力 言語感覚 国語を尊重する態度
 社会科 国土と歴史に対する理解と愛情 伝統と文化の尊重 公民的資質
 算数科 筋道を立てて考え、表現 生活や学習への活用
 理科 自然愛護 生命の尊厳 科学的な見方や考え方
 音楽科 豊かな情操 感性 共通教材(伝統や文化・自然の美しさ)
 図画工作科 つくり出す喜び 豊かな情操
 家庭科 生活習慣の大切さ 家族の一員としての役割
 体育科 粘り強く運動に取り組む態度 集団のルール 健康の保持・増進(特に生活習慣) 安全に行動しようとする態度

外国語活動における道徳教育
 外国語を通じて、言葉や文化について体験的に理解を深め、日本人としての自覚をもって、世界の人々と親善に努めようとする態度を育てる。

総合的な学習の時間における道徳教育
 自ら課題と出会い、発見する経験を得ることなど探求的な活動を通して、学び方や考え方を獲得するとともに、自らの生き方を考える態度を育てる。